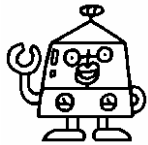


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
植物の花と実 / 理解シート

花粉はどうやって、めしべの頭につくの



花のみつや花粉をえさにしている、虫や鳥が運んだり、
風が運んだりして、めしべの柱頭ちゅうとうにつくんだよ。

花は虫に花粉を運んでもらうために、いろいろなくふうをしている

アサガオの花は、おしべとめしべが同じ花の中にあり、花が開くころ、おしべがめしべに花粉をこすりつけてのびるため、虫がいなくても受粉できます。けれど、こんな花は少なく、たいていの花は、同じ種類の別な花の花粉をもらって、たねや実をつくるようになっています。そのほうが、病気やかんきょうの変化などに強い性質せいしつのたねができるからです。そのため、虫などに花粉を運んでもらうしくみになっています。こんな花を、虫ちゅうばい花といいます。

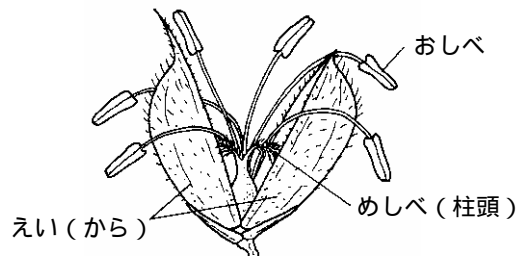
虫ばい花は、虫をよびよせるため、目立つ色の花びらや強いにおい、みつなどをもっています。そして、みつをすったりなめたりした虫の体に花粉がつき、別の花にいったとき、その体の花粉がめしべの柱頭につくようなしくみになっています。

カボチャやヘチマの花のように、おしべはお花、めしべはめ花についている花は、それぞれめしべやおしべのつけ根のところにみつがあり、みつをなめにきた虫の体にくっついた花粉が、虫がめ花にいったとき、めしべの柱頭に運ばれます。

風が花粉を運ぶ（風ふうばい花）ものも多い

イネやトウモロコシの花や、スギ、マツなどの木の花は、花びらがなく、花のように見えないのですが、よく見ると、おしべやめしべがあり、花粉がめしべについて実やたねができます。

これらの花粉は軽く、風に飛ばされて遠くまで運ばれ、めしべにつきます。



別な株の花粉が、風に飛ばされて柱頭につく

イネの花のつくり

もっと知りたい人へ：「アサガオの花のつくりは、どうなっているの」も見てみよう。